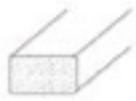


## 開口調整に使用する工具・材料

シーリングガン	バックアップ材	マスキングテープ	ヘラ
			

## 施工・開口調整に使用するオプション品

### シーリング材



□K-49615

商品色	
YB	アンバー
YK	ブラック
H2	ライトグレイ2
S1	グレイ
YW	アイボリー

額縁とブラマードU枠とのすき間隠しにおすすめのシーリング材です。調整材と併用してご使用ください。  
※記号の前の□に商品色を指示してください。

### メンテチューブ

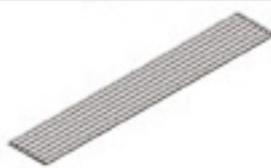


TY K-44578□-1E

商品色			
3	初色カークラフト	6	クリアオーク
8	プレーン	9	ナチュラルチェリー
P	プラクソノーチェ	R	キャメルチェリー
T	ミッドカークラフト	Y	ダークチーク
JN	白木色		

隠し釘跡の補修などちょっとしたすき間隠を埋めるのに便利なチューブタイプの補修剤です。  
※記号の中の□に商品色を指示してください。

### 調整材

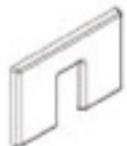


□PK-51499-1000  
□PK-51499-2000

商品色	
E2	木目クリア
E3	木目ナチュラル
E9	ミディアムオーク
CM	ダークブラウン
DC	グレイ
YW	ホワイト

厚さ1mm、ピッチ10mmでの切取溝が入っており、様々な用途に使用できる樹脂製部材です。  
※記号の前の□に商品色を指示してください。

### レール端部スペーサー



□BS-PUH-40

商品色	部品色
E2	G6
E3	P6
E9	EM
CM	BB
DC	E5
YW	WM

施工調整時に障子のガタツキを抑えるため、立て枠に貼付するスペーサーです。  
※記号の前の□に部品色を指示してください。

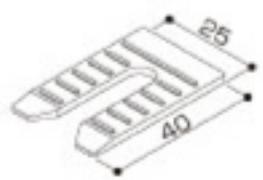
### 施工調整スペーサー



YS 2K-29658(t0.5)  
YS 2K-29621(t1)  
YS 2K-29622(t3)  
YS 2K-29623(t5)

4種類の厚みを選べるポリプロピレン製のスペーサーです。

### 調整ライナー



厚み 色 記号

1	ホワイト	YSBS-PUH-41
2	ブラック	YKBS-PUH-42
3	ホワイト	YWBS-PUH-43
5	ブラック	YKBS-PUH-44

U形状で差込型のスペーサーです。

### 両面テープ



幅20mm×50m巻  
YK 2K-49685

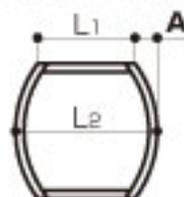
調整材を目板として使う場合の接着用両面テープです。

# 16 開口部の調整方法例

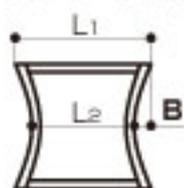
## 開口部の調整方法例

- 施工時にすき間がある場合、シーリング材で塞ぎます。
- 開口部のたわみ量が限度を超えている場合は、枠との間に調整材、施工調整スペーサー（ともにオプション品P.15参照）を入れて調整します。その際、できたすき間は、シーリング材（オプション品P.15参照）で塞ぎます。

■ソリ(フクレ)の場合



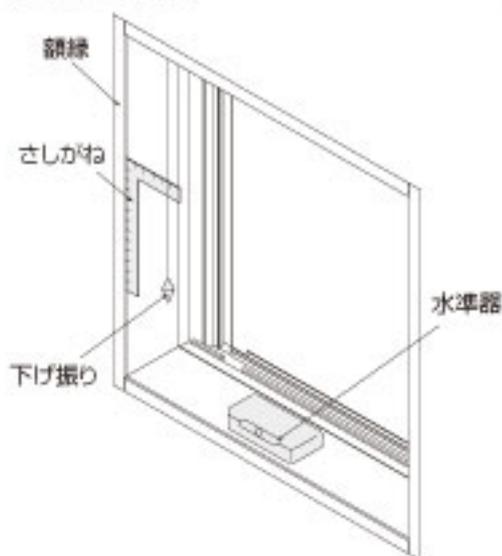
■ソリ(ツツミ)の場合



■対角差の場合

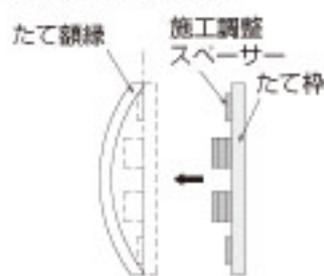


### ① 開口部の確認



### ② 施工調整スペーサー(オプション品 P.15参照)の貼付

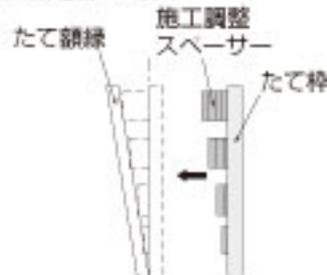
■ソリ(フクレ)の場合



■ソリ(ツツミ)の場合

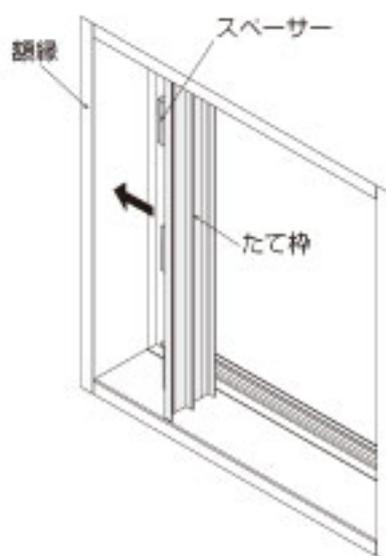


■対角差の場合

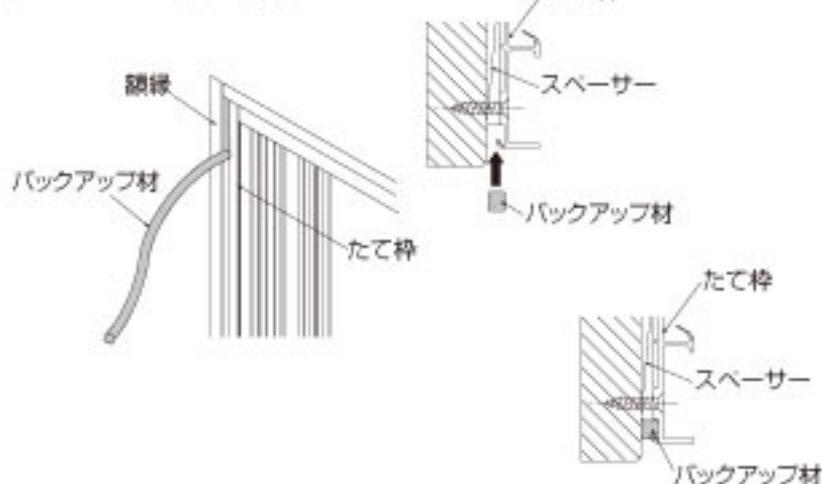


すき間にあわせてスペーサーの厚みを調整してください。

### ③ たて枠の取付



### ④ バックアップ材の挿入



## 開口部の調整方法例

### ⑤ マスキングテープの貼付

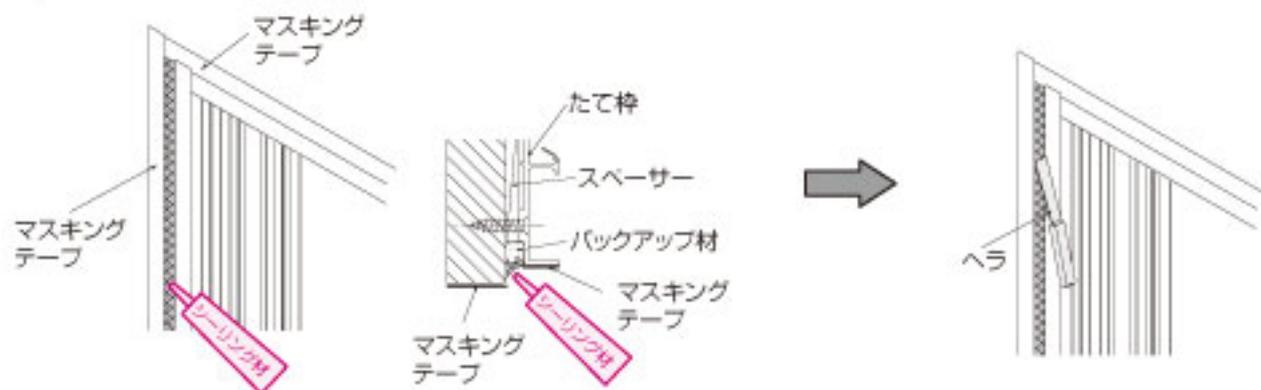
よこれ防止のため、マスキングテープを額縁と枠に貼ってください。



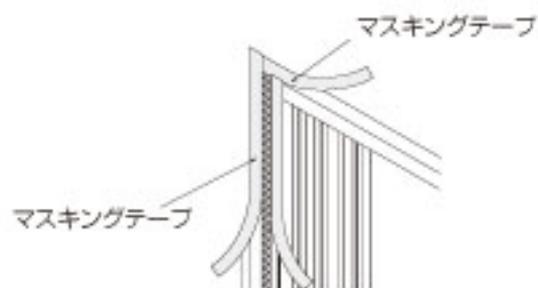
### ⑥ シーリング

① 額縁と枠のすき間にシーリング材(オプション品 P.15参照)を充てんしてください。

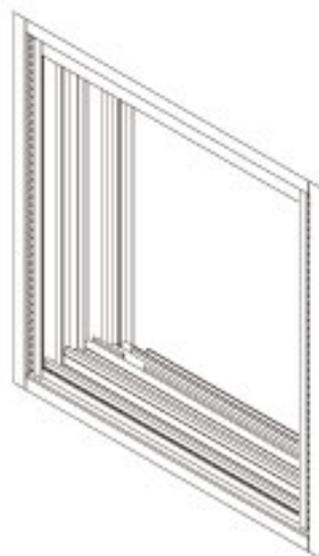
② ヘラで余分なシーリング材を落してください。



### ⑦ マスキングテープの取外し



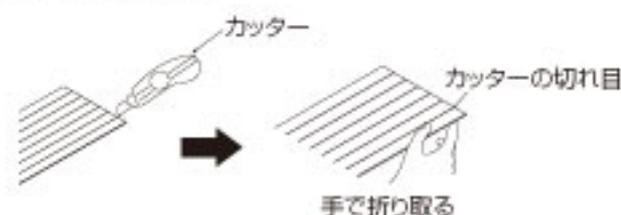
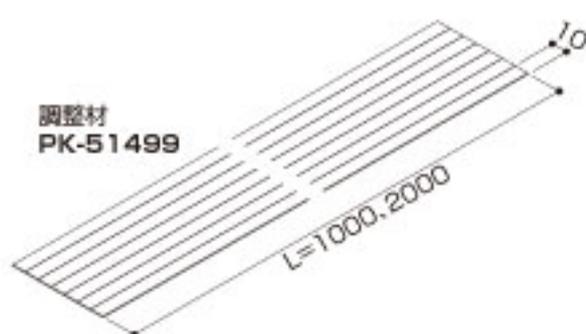
### ⑧ 完了



## 調整材

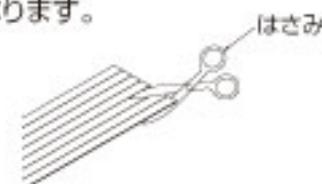
## ■切断方法

表面の溝にカッターで切れ目を4~5回入れ、手で折取ってください。



## ポイント

はさみでも切断できますが、切断面に凹凸がでやすくなります。



## 目板として使用する場合

調整材の接着には、両面テープ(オプション品P.15参照)を必ず使用してください。

## 貼付前の注意事項

接着力が低下し、はがれや波うちの原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。

- 窓額縁の状態が、下記事項を満たしていることを確認してください。
  - 1)化粧シート貼りをしていない木額縁であること。
  - 2)窓額縁の貼付け面に凹凸がないこと。
  - 3)窓額縁に腐朽、割れがないこと。
- 調整材の反りがなく確認してください。
- 両面テープの粘着面に手などで触れないでください。
- 両面テープは、貼りなおさないでください。
- 両面テープの保管は、直射日光、高温多湿、氷点下になるところを避け、埃などがかからないようにしてください。

両面テープ(オプション品)  
YK 2K-49685  
幅20mm×50m巻  
厚さ約1mm



## 1.調整材の切断

調整材を開口にあわせて長さ、幅を切断してください。

## ポイント

調整材の厚みは、両面テープを貼付けた状態で約2mmです。

## ▲ 注意

開口寸法より長く切断しないでください。  
開口に対して調整材が長いと、調整材がたわみ、そのまま無理に貼付けると、はがれや波うちの原因になります。

## 調整材

### 2.両面テープの貼付

- ①調整材の貼付面を清掃し、汚れ、水分、油分などを取除いてください。

#### ⚠ 注意

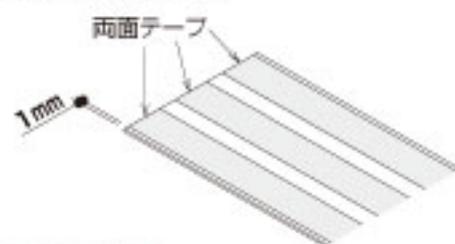
汚れ、水分、油分が残っていると、両面テープの接着力が低下し、はがれや波うちの原因になります。

- ③両面テープがはみ出した場合は、はみ出した部分を切断してください。

#### お願い

切断する際は、両面テープがはがれたり、ずれたりしないようにしてください。

- ②調整材の裏面に両面テープを全面に貼付けてください。



#### ポイント

両面テープは、調整材の端から1mm程度離して貼付けてください。

### 3.調整材の貼付

- ①開口部の貼付面を清掃し、汚れ、水分、油分などを取除いてください。  
②両面テープのハクリ紙をはがし、窓額縁に調整材を貼付けてください。

#### ポイント

両面テープの貼付けは、

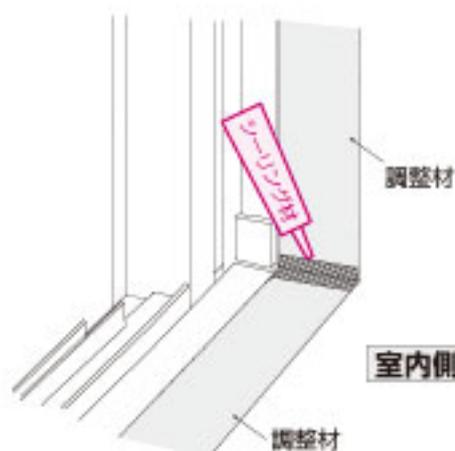
- 気温10℃以下の場合ドライヤーで温める。
- 100mmの幅に対し、2.0kgで圧着してください。

#### ⚠ 注意

調整材の全面を強く押付けて、貼付面を圧着してください。  
圧着が不十分の場合、はがれや波うちの原因になります。

### 4.シーリング

コーナー部のすき間をシーリングしてください。



#### シーリングは必ず実施してください！

- 高温時、コーナー部にすき間が発生する場合がありますので、コーナー部をシーリングしてください。
- シーリング材は、シリコン系シーリング材を使用してください。(オプション品P.15参照)
- ポリサルファイド系は、窓が変色するおそれがありますので使用しないでください。

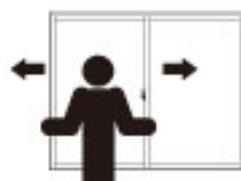
## 同梱一覧

姿図	
品名	レール端部スペーサー
品番	2K-37527
個数	20

## 施工

### 1. 取付個数の確認

①障子を左右に引分けてください。



②召合せ框のスレ寸法(A寸法)を測定し、取付個数を確認してください。



### 注意

3枚建(両袖タイプ)、4枚建の場合、一方の召合せ框をあわせた状態でもう一方の召合せ框のスレ寸法を測定してください。



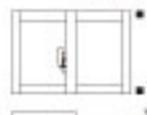
### レール端部スペーサー取付個数

2枚建、3枚建(突合せタイプ)の場合  
 $0 \leq A \leq 2$ …クレセント受を調整  
 $2 < A \leq 4$ …2個+クレセント受を調整  
 $4 < A \leq 6$ …4個+クレセント受を調整  
 $6 < A$  …開口を調整

3枚建(両袖タイプ)、4枚建の場合  
 $0 \leq A \leq 4$ …クレセント受を調整  
 $4 < A \leq 6$ …2個+クレセント受を調整  
 $6 < A \leq 8$ …4個+クレセント受を調整  
 $8 < A$  …開口を調整

### レール端部スペーサー取付位置

<2個の場合>



室内側

<4個の場合>



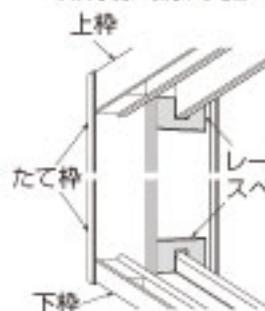
室内側

図は2枚建正勝手て説明しています。逆勝手や3枚建、4枚建の場合も同様です。

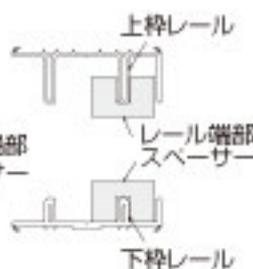
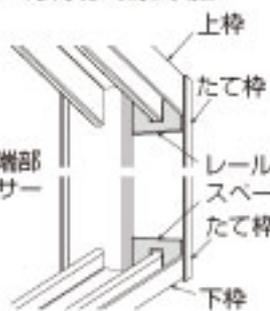
## 2. 取付

- ①たて枠部の油、汚れなどをきれいに落としてください。
- ②レール端部スペーサーの両面テープのハクリ紙をはがし、上下枠のレールにあわせて、たて枠に取付けてください。

<外障子側に取付ける場合>



<内障子側に取付ける場合>



### ポイント

- 両面テープの貼付は
- ・気温10℃以下の場合ドライヤーで温める
  - ・約11kgの力で圧着してください。

### 注意

性能低下のおそれがあるので、レール端部スペーサーを重ねて取付けしないでください。

## 調整

調整は、P.29「引違い窓 クレセント受の調整」を参照してください。